

ぜん ぎょう じ
善巧寺報

6 月号

月刊◎善巧寺報

〒344-0032 埼玉県春日部市備後東4丁目1番17号
TEL 048(734)7660
榎本明覚

▼二〇二〇年六月一日▲



●紫陽花（アジサイ）●
「紫陽花と言えば鎌倉」と言われるほど、
名所が点在する鎌倉エリア。マスクを付け
ずに気がねなく散策できる日が一日でも早
く来ることを願います。

季節の花

～ 紫陽花 ～



定例法座

毎月
十一日

◎六月十一日(木)午後二時〜

二時半

於 法輪会館

「非常の言は常人の耳に入らず」

「日常に埋没している人は、自分の心とその充足ばかりに執着して真実を聴く耳を持たない」という曇鸞大師のお言葉です。新型コロナウイルスの感染が日本でも広がり、お亡くなりになった著名人の方もいらつしやいます。そうした事を日々報道で接し皆様はどのような思いを持たれましたか？必要以上に恐れたり、逆に、日本においては死亡率が低い病気に何故こんなに大騒ぎするのか？と思ったり、様々な思いをお持ちになられている事でしょう。限られた情報、限られた人生経験、限ら

れた立場を「あるじ」として私たちは様々な判断を下し、時に反発しあいますが、いずれも「自分の心」を絶対的基準としているが故に起こる事象です。自分を中心とする事からすこし離れ(と言ってもそれは非常に難しい事です)、斜め上から自分の姿を眺めてみる癖をつけるのも乱れる心を整理するには重要な事ではないでしょうか。「智によって痴に依らない」のが仏教の立場なのです。さて親鸞聖人は、その智慧の最高峰は、何物も捨てないという阿弥陀仏の心であると受けとられました。心揺られ動かされ続ける私に、仏さまは全く動ずることなくすべてを受け止めて下さる。その底の無い安心に依って、迷い過ちを重ねながらも力強く生きなさいと仏さまやお浄土に参られた方々

に常に応援され続けながら拙い歩みが続けることが出来る、そのように味わうことも出来るでしょう。初めての事は誰であってもおっかなびつくりなものですが、千々に乱れる私の心を決して責めることなく「そうかいそうかい、大丈夫だよ」とすべてを受け止めて下さる仏さまが私にはいらつしやる、そんな風に受け止めて困難な道を渡っていききたいものです。

緊急事態宣言が解除され、徐々に社会生活も復旧してきました。まだ予断は許されない状況ですが、法輪会館で換気消毒を徹底し時間短縮で行います。どうぞご参拝下さい。



みほとけ会月例会

◎緊急事態宣言は解除されましたが、貸し会場の安全性、三密を考慮して、しばらくはZOOMミーティングにて行います。

詳しくはFACEBOOKの「みほとけ会」ページをご覧ください。
アドレスは、
[https://](https://www.facebook.com/jodowasan/)

www.facebook.com/jodowasan/
です。

◎本年の永代経法要は住職一人で勤修いたしました。きつと善巧寺始まって以来初めての事なのではないでしょうか。お世話になった方々の事を思いつつ。

南無阿弥陀仏

◎お盆のお参りは例年通り行います。詳しくは来月号でご案内いたします。

◎緊急事態宣言解除に伴い、延期されていたご法事も承ります。お寺までご相談ください。

